



南会津町立田島小学校だより

令和5年5月16日発行

田島小だより

No. 3

＜本校の教育目標＞

「心身ともに健康で、
確かな学力を持ち、

人間性豊かな児童の育成」



「ルール」と「リレーション」！！

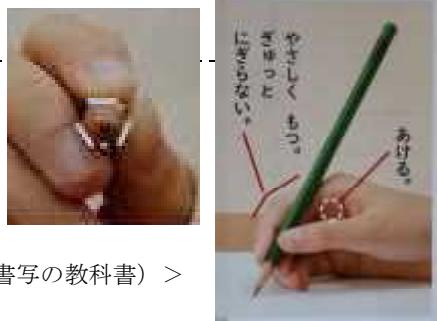
子供たちが集団で活動する上で大切にしなければならないことの一つとして「ルール」と「リレーション」による学級づくりがあります。昨年度の学校だより9月号にも記載しました。今年も大切にしたいことですので、ご確認ください。

「ルール」とは、集団活動・生活をする上での「決まり」です。ルールがないと、個々が好き勝手を行って、集団としてのまとまりがとれません。しかし、このルールばかり表に出して進めていくと、とても「管理的」な集団になります。指導する人の立場が強くなり、ルールをもとにお互いに牽制するなど、生活しづらくなります。

「リレーション」とは、所属する者同士の「親密性」であり、互いの感情の交流の状況です。こればかり強くなると、「なれ合い」の集団になり、集団としてのまとまりがとれません。

このバランスを考えた集団づくりが重要になります。

報道をみていると、厳しい校則について話題になります。本校では「田島小のきまり」としています。これは「ルール」ですね。



＜鉛筆の持ち方（書写の教科書）＞

小学校では「～はしません。」といったことで子供たちを指導します。例えば、「シャープペンはつかいません。」です。ただこれのみを示しただけでは、非常に管理的な印象を与えます。どうしてだめなのか、その理由を共有できる関係性が重要です。この共有できている状態、それが「リレーション」が深まった集団であり、望ましい集団であると考えます。

このことは、より親密性（リレーション）が深い家庭にあっても同様であると思います。ぜひ、きまりをつくる時は理由を共有してほしいと思います。（すでに行っているご家庭が多いと思いますが・・・。）

ちなみに、シャープペンを使用しない理由ですが、①鉛筆の持ち方をしっかり身に付けるため②力の弱い小学生にあっては、鉛筆で筆圧をかけ太く書けるようにするため ③道具に興味がいって授業に集中できなくなることを防ぐため ④盗難等のトラブルを防ぐため などがあります。子供たちが十分理解し、このルールを守っているとみていますが、いかがでしょうか。

この後も集団としてのルールを定めることができます。その際は子供たちとその理由を共有し進めていきたいと考えています。

6月

- 1 (木) よい歯の教室 (1・2年)
2 (金) よい歯の教室 (3・4年)
6 (火) よい歯の教室 (5・6年)
つどいの広場 (1年)
13 (火) コミュタン見学 (5年)
給食試食会 (2年)
15 (木) 修学旅行 (6年) ~16日
給食試食会 (1年)

- 16 (金) 遠足 (1~3年)
20 (火) キッズシアター (3~6年)
鑑賞教室 (1・2年)
租税教室 (6年)
21 (水) クラブ活動
23 (金) 授業参観・家庭教育学級
PTA役員会
29 (木) ふれあい教室 (3・4年)
教育評価週間~7/5)

「お知らせコーナー」から

お知らせコーナーを活用し、ご意見ご感想をいただき、ありがとうございます。保護者の方とのキャッチボールが学校だよりの内容をもとにできること、作成していく大変励みになります。今後ともよろしくお願ひします。

今回は、前回の学校だよりに対し以下のような感想をいただきました。



(前回の学校だよりにあった)「不安」と「期待」の話ですが、脳科学的に脳の動きも不安と期待(興奮)は一致していて、自分自身がどうとらえるかの違いのようです。子供たちにもこのことを自覚して心のコントロールができるようになってほしいと思います。

私自身の考え方の裏付けになりましたし、脳科学からの知識を得ることもできました。

学校だよりで話題にしたことについて、保護者の方々の豊富な経験や読書体験等で関連する内容等ありましたら、お知らせください。それを機会により深めていきたいと思います。

<上・下学年ごとのクイズ出題板>

クイズコーナー

<「日本一周パートI」カード>

今年も校長室前には「クイズコーナー」を設置しています。正解するとスタンプがもらえる「日本一周のスタンプラリー」も行っています。取組には個人差がありますが、早い子供は1枚目のカードが終了します。

些細なことですが、今年も「期待の登校 満足の下校」につながるよう、クイズを出していきたいと思います。



切り取り線

お知らせコーナー ※ 学校の教育活動等に、ご意見ご感想がありましたら、ご記入いただき、お知らせください。
(校長)

()年 保護者氏名(児童名)

()